

産業観光局 予算要求の内容			検討が必要な事項
事業名	事業概要	要求額	
高度機器活用人材育成事業（京都ナノテクマイスター育成プログラム）	<p>知的クラスター創成事業で購入した最先端の分析・評価に関する高度機器を活用し、地域の中小・ベンチャー企業を対象に技術講習会の開催や機器の開放を行い、中小・ベンチャー企業の技術力の底上げを図る。</p> <p><成果目標></p> <p>京都地域の技術開発水準を向上させることにより、ナノテクノロジーを核とした京都・地域クラスターの形成を図り、新産業・新事業の創出を目指す。</p>	10,000	<input type="checkbox"/> 公民等役割分担の検討 <input checked="" type="checkbox"/> 既存施策との整合性検討 <input type="checkbox"/> 事業内容・実施手法の検討 <input type="checkbox"/> 後年度財政負担の検討
知恵産業推進事業（仮称）「京もの・リ・ブランディングプロジェクト」	<p>京都市、みやこめっせ等で構成する「京もののある暮らし協議会（仮称）」を設立する。有名デザイナー等とのコラボレーションによる新商品開発を行うとともに、有名ショッピングビル（東京ミッドタウン、新丸ビル、表参道ヒルズなど）やセレクトショップでの販売を行い、従来の伝統産業製品の購買層以外の新たな消費者を開拓する。</p> <p><成果目標></p> <p>市場規模の拡大と、新たな消費者の開拓が期待できる。</p>	35,000	<input checked="" type="checkbox"/> 公民等役割分担の検討 <input type="checkbox"/> 既存施策との整合性検討 <input checked="" type="checkbox"/> 事業内容・実施手法の検討 <input type="checkbox"/> 後年度財政負担の検討
フィルムツーリズム推進事業～京のロケ地をめぐる～	<p>ロケ地情報をデータベース化した検索システムを構築するとともに、ロケ地のガイドブック、マップの作成・配布を行い、「日本映画発祥の地」京都のロケ地情報を国内外へ発信することにより、映画をテーマとした観光客の誘致を推進する。</p> <p>また、京都駅等にロケ地情報の案内拠点を設置するとともに、ロケ地となった寺院等にも案内板を設置し、ロケ地めぐりを行う観光客の受入整備を図り、歩いて楽しいロケ地めぐりを演出する。</p> <p><成果目標></p> <p>京都の魅力を新たな切り口で発信することで、若者から高齢者まで、ロケ地めぐり観光の需要を掘り起こす。</p>	40,000	<input checked="" type="checkbox"/> 公民等役割分担の検討 <input type="checkbox"/> 既存施策との整合性検討 <input checked="" type="checkbox"/> 事業内容・実施手法の検討 <input type="checkbox"/> 後年度財政負担の検討

※この一覧表は、事業実施の意義は認められるものの、「検討が必要な事項」欄に記載した課題があるため、財政非常事態の下では、限られた財源を他の事業に振り向けざるを得ず、予算措置を見送った事業を掲載したものです。

産業観光局 予算要求の内容			検討が必要な事項
事業名	事業概要	要求額	
京都観光ボランティア制度・おもてなしプロジェクトの創設	<p>観光ボランティア活動に意欲のある人からの申請に基づき登録し、バンクを創設する。その際、資格（京都検定、各国の外国語資格等）、得意分野、希望する活動内容等の情報を本人から収集のもとデータベース化し、京都市及び公的団体等からの派遣要請に基づき、京都の観光振興に寄与するイベント等にボランティアを派遣する。</p> <p>さらに、市民、登録ボランティア、既存の観光ボランティアグループが一堂に会する「京都観光ボランティア会議」を開催し、それぞれの取組内容について情報交換を行うとともに、今後の活動に役立ててもらう。</p> <p><成果目標> 登録人数300人 活動延日数 600日</p>	12,000	<input type="checkbox"/> 公民等役割分担の検討 <input checked="" type="checkbox"/> 既存施策との整合性検討 <input checked="" type="checkbox"/> 事業内容・実施手法の検討 <input type="checkbox"/> 後年度財政負担の検討
コンベンション戦略の推進（5年間集中実施）	<p>京都の都市ブランドを高め、京都経済の活性化を図るため、国際会議等コンベンションを振興させる必要がある。そのため、従来からの誘致活動に加え、京都市におけるコンベンション振興戦略を策定した上で、この戦略に基づき海外コンベンション博への出展や国内外へのセールス強化、受入マニュアル等の整備、事務局体制を強化するなど、インセンティブを含むコンベンション振興を図る。</p> <p><成果目標> 平成23年までにUAI（国際団体連合）基準を満たす会議開催件数を平成17年の50%増を目指す。 *平成17年：19件→平成23年：29件</p>	20,000	<input checked="" type="checkbox"/> 公民等役割分担の検討 <input checked="" type="checkbox"/> 既存施策との整合性検討 <input checked="" type="checkbox"/> 事業内容・実施手法の検討 <input type="checkbox"/> 後年度財政負担の検討
（この欄は削除されたため、内容が空白です）			

※この一覧表は、事業実施の意義は認められるものの、「検討が必要な事項」欄に記載した課題があるため、財政非常事態の下では、限られた財源を他の事業に振り向けざるを得ず、予算措置を見送った事業を掲載したものです。